

(別添 4)

【輪島市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市においては、ICT を活用して定着・振り返り等の場を設定すること、資料や図等を選択したり、関連付けたりして自分の考えを積極的に表現すること、多様な考えを短時間で共有することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の実現により資質・能力の育成を目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

【ICT 環境の整備】

令和 2 年度に全ての学校において、Chromebook を 1 人 1 台端末として整備するとともに、ネットワークの整備を行った。

【ICT の活用】

児童生徒 1 人 1 台端末環境及びクラウド環境が整ったことにより授業等における Google Workspace 等のクラウドツールの活用が進み、児童生徒がそれらを活用して情報収集・理解・整理・発信・共有したりするなどの発達段階に応じた学習活動が実施できるようになった。また、AI ドリルを導入し、授業の隙間時間や家庭学習に取り入れることで、個の習熟度に応じた学習を進められるようになった。

教職員においても、Google Workspace 等のクラウドツールの活用による学校行事の振り返りをはじめとする各種アンケートの実施や会議のデータ共有等により、校務にかかる時間と費用を削減できている。

【災害等の緊急時における活用】

令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震や 9 月の能登半島豪雨では、安否確認や避難先でのオンライン授業等での活用により、児童生徒の学びを保障することができた。

【課題と改善策】

児童生徒が端末を使う授業を、日常的に実施している教職員数が年々増加している一方で、学校間、教職員間で活用の差が生じてきている。本市において令和 7 年度は、デジタル教科書導入することから、各学校での研修会の取組を充実させたり、ICT 支援員等外部との連携を図らせたりすることで、教職員の技量を向上させたい。

また、校務における ICT の活用場面やより効果的な活用を増やすために、具体的な活用場面や活用方法についての研修の実施や好事例の共有などに取り組んでいく。

2. 1人1台端末の利活用方策

端末を適切に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のよう
に利活用していく。

(1) 1人1台端末の積極的活用を進めるために

全ての学校において、1人1台端末を活用した授業が積極的に行われている。児童生徒もICT活用した授業はわかりやすいと考えている。また、1人1台端末の活用には積極的である。授業だけではなく、英語検定やタイピング等個人のスキルアップのための活用やその他学校生活の様々な場面において、児童生徒が主体的に1人1台端末を活用することができるよう、児童生徒のニーズを聞き取ったり、全国の先進校や県内の学校の好事例を共有したりして、活用場面の幅を広げていきたい。

(2) 個別最適な学び協働的な学びの一体的な充実のために

全ての学校において、個別最適・協働的な学びの一層の充実に向けて、児童生徒自身が理解度や進度に合わせながら学習方法や学習内容を選択し、主体的に学習する場面を意図的・効果的に設定した授業が多く見られる。しかしながら、本市の大きな課題は児童生徒一人一人の学力や学習意欲の差が大きいことであり、授業や学校活動、家庭学習などの場面で1人1台端末を効果的に活用することで、児童生徒自身が自らの学びを自己調整しながら、各教科等で育成すべき資質・能力を確実に育てていくことができるように、外部講師や指導主事による校内研修の実施や、デジタル教科書や市で導入済みのAIドリルの活用について研修を深め、実践を共有するなどして、実践研究を進められるように支援していきたい。

(3) 全ての児童生徒の学びの保障のために

全ての学校において、1人1台端末を活用して、緊急時等における学びの保障のため、定期的に接続テストやプリントの配布などを行う。また、オンライン授業の指導力向上のための模擬授業などの校内研修が進められるように支援していく。保護者と協力してオンライン授業への参加を促したり、オンラインでの教育相談を活用したりすることで長期欠席の児童生徒の学びを保障していく。

特別支援学級においては、障害の状況や程度等の理由で学校へ登校することが難しい児童生徒や教室への入室や集団学習に参加することが難しい児童生徒もいる。そのような児童生徒に対して、教材や授業中の様子の動画を配信する。また、長期休業中の宿題等の家庭学習において、プリント学習への取り組みが難しい児童生徒に対して、動画での課題提示や学校にいる教師とオンラインでのやり取りを通して課題の提示をすることで学びを保障していく。